

北陸経済調査

〔管内経済の概況〕

北陸財務局管内(石川県、富山県、福井県)の最近の経済動向をみると、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している。 ※前回10月判断を据置き

(総括判断のポイント)

個人消費は、地震の影響は残るものの、ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることから、「緩やかに回復しつつある」。生産は、電子部品・デバイスや金属製品が下げ止まっているほか、化学が緩やかに回復していることなどから、「持ち直しつつある」。雇用情勢は、地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、「緩やかに持ち直している」。

【先行き】

○ 復旧・復興の動きに加え、各種政策や北陸新幹線敦賀延伸の効果もあって、持ち直していくことが期待されるが、地震等の影響については十分注意する必要がある。

【総括判断】

項目	令和6年10月	令和6年11月	前回との比較
総括判断	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している。	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している。	→

【主要項目の判断】

項目	令和6年10月	令和6年11月	前回との比較
個人消費	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある。	地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある。	→
住宅建設	弱い動きとなっている。	下げ止まりつつある。	↗
生産	持ち直しつつある。	持ち直しつつある。	→
雇用情勢	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	→

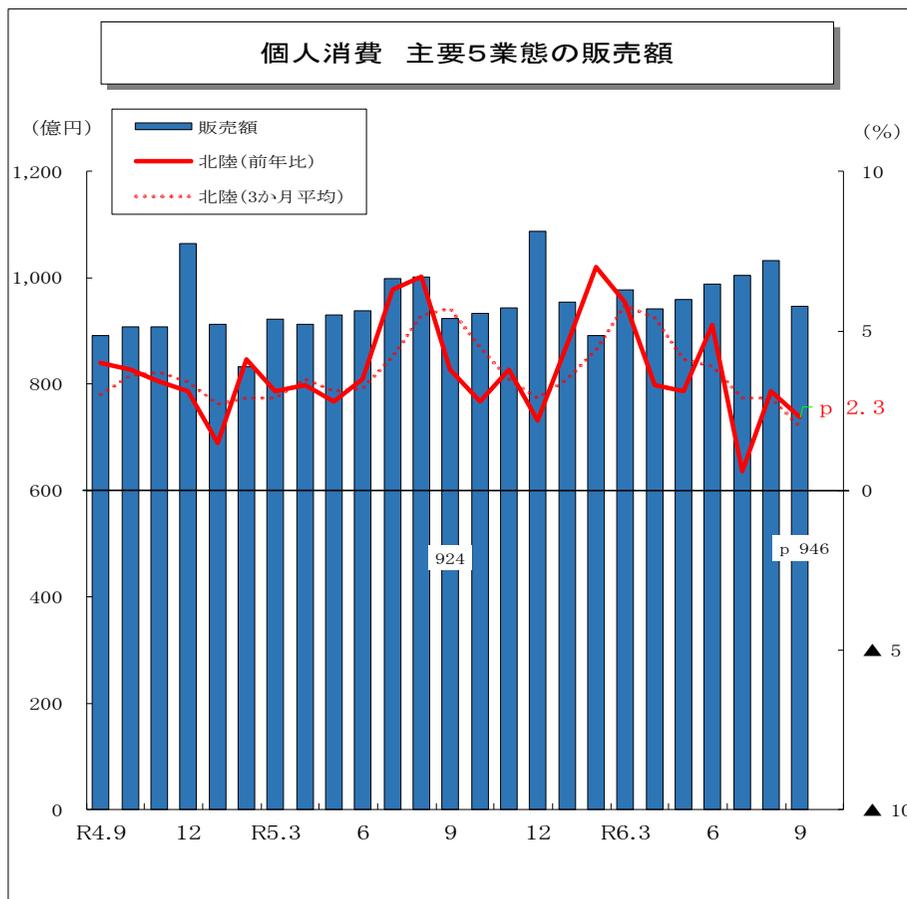
令和6年11月
財務省 北陸財務局

お問合せ先
財務省 北陸財務局 経済調査課
TEL (076) 292-7858

1. 個人消費 …… 地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに回復しつつある

※ 前回10月判断を据置き

ドラッグストア販売が拡大しており、百貨店・スーパー販売が緩やかに回復しつつあるほか、温泉地や観光地でも客数の回復が進んでいることなどから、全体では緩やかに回復しつつある。



業 態	判 断	前回との比較
百貨店・スーパー	緩やかに回復しつつある	➡
コンビニエンスストア	堅調となっている	➡
ドラッグストア	拡大している	➡
ホームセンター	順調となっている	➡
家電大型専門店	持ち直しの動きがみられる	➡
新車販売	緩やかに持ち直しつつある	➡
主要温泉地	前年を下回っている	➡
主要観光地	前年を下回っている	➡

(注1) 主要5業態は、各業態(百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター、家電大型専門店)の販売額を合計したもの。

(注2) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局、北陸財務局

(1) 百貨店・スーパー販売

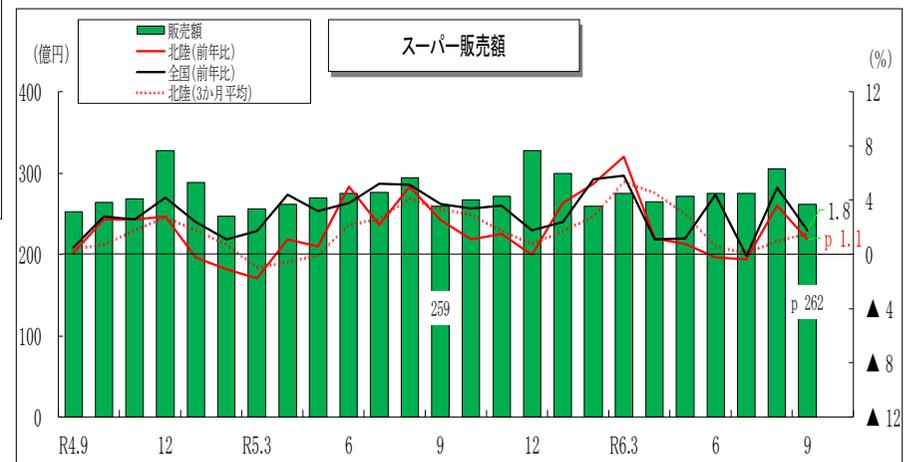
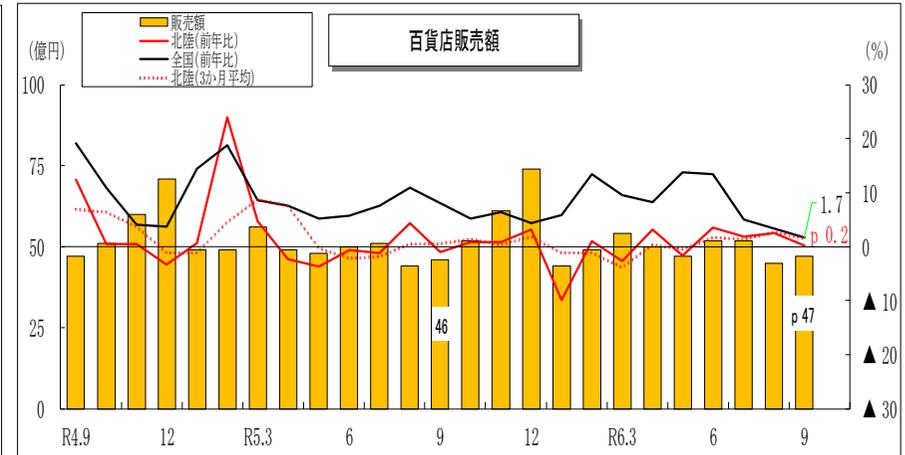
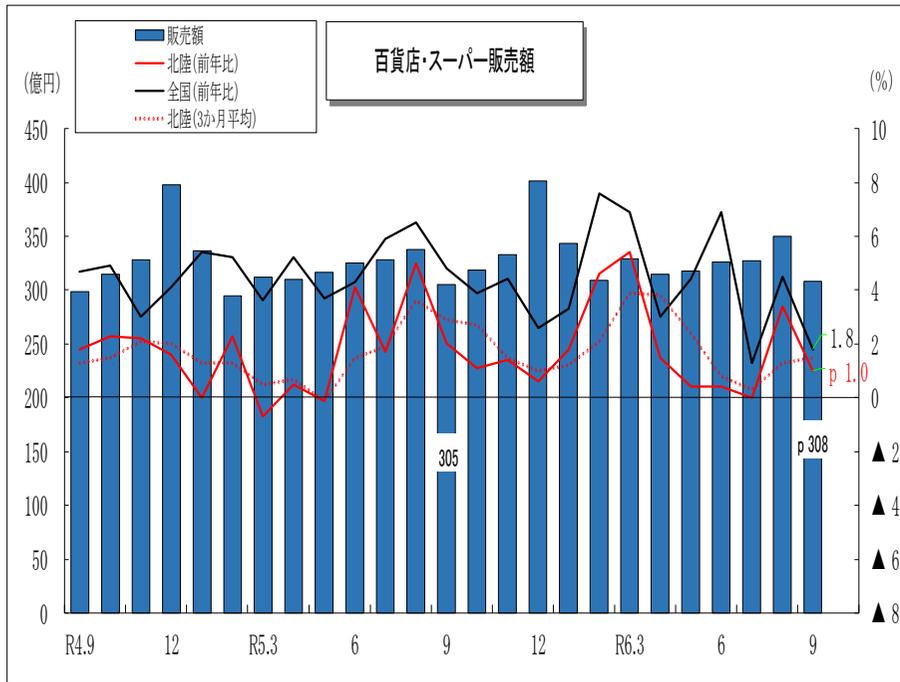
9月の百貨店・スーパー販売は、

- ・百貨店では外商を中心に高額品に動きがみられるほか、催事効果やインバウンドにより客数が増加していることから、前年を上回っている。

- ・スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。

以上のような状況を踏まえると、緩やかに回復しつつある。

※前回10月判断を据置き



(主なヒアリング結果)

- > 外商を中心に宝飾・時計などの高額品が引き続き好調。(百貨店)
- > 引き続きブランド品が好調なほか、9月に開催した物産展も盛況。(百貨店)
- > 10月は気温が高く衣料品の動きが鈍かったが、11月に入りようやく冬物が動き始めた。(百貨店)
- > 食料品は値上げを進める一方で、プライベートブランドの宣伝を強化し、売上を伸ばしている。(スーパー)
- > 足下ではようやく気温の低下が進み、例年に遅れて冬物衣料や暖房器具が動き出した。(スーパー)

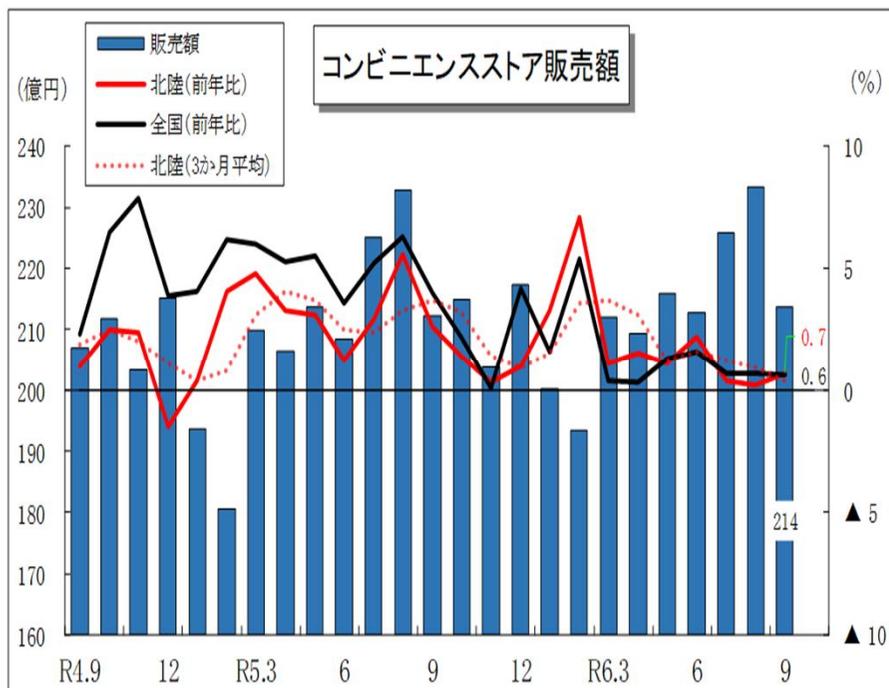
(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局

(2) コンビニエンスストア販売等

①**コンビニエンスストア販売**は、被災地支援者や北陸新幹線の敦賀延伸効果による観光客の来店が続いており、米飯類等に動きがみられることから、堅調となっている。

※前回10月判断を据置き(令和4年8月以降、28か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

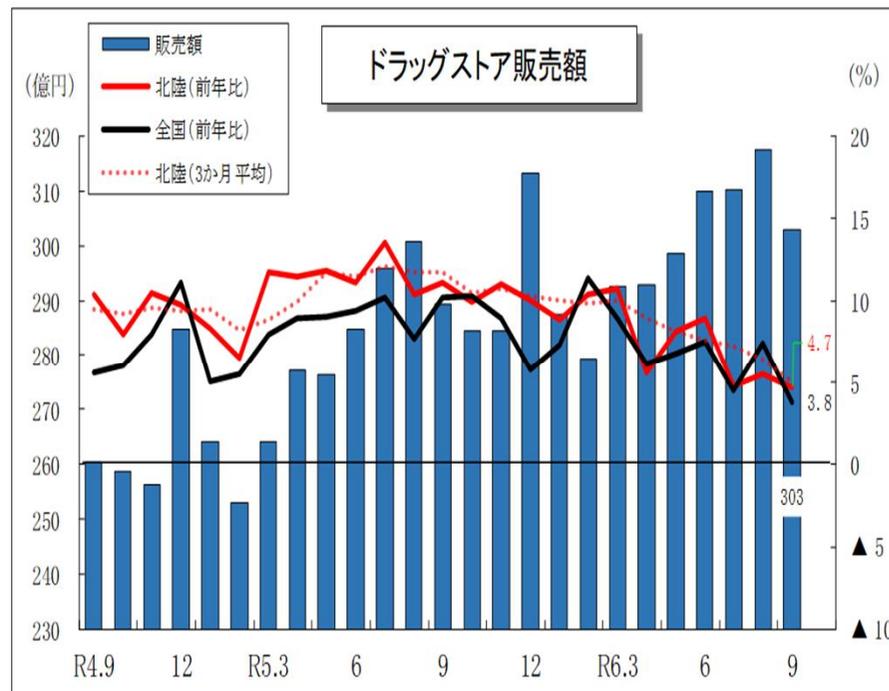
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- > 奥能登豪雨の被災地支援者による米飯類や飲料の購入がみられている。
- > 10月は例年より気温が高かったことから、アイスクリームや飲料がよく売れた。
- > 足下では、中華まんなどの温かいカウンターフーズが動いている。

②**ドラッグストア販売**は、飲食料品等に動きがみられるほか、新規出店効果もあり、拡大している。

※前回10月判断を据置き(令和5年11月以降、13か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

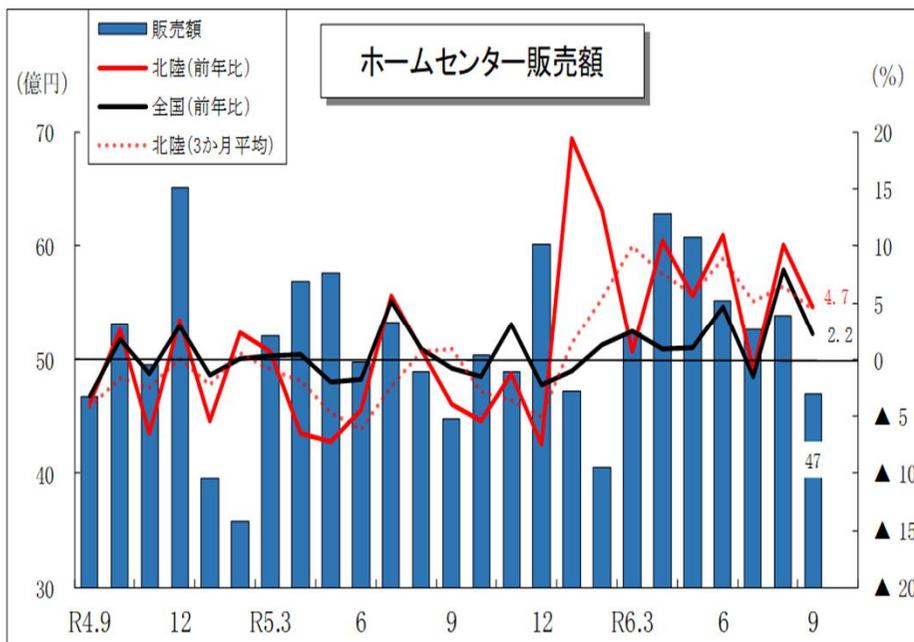
(資料) 経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- > 安価な生鮮食品を求めて来店し、併せて日用品を購入する人が増えている。
- > 引き続き、物価高の影響から割安感のあるドラッグストアに来店する人が増えている。

③ホームセンター販売は、被災家屋の復旧需要によりDIY用品に動きがみられることなどから、順調となっている。

※前回10月判断を据置き



(注) 3か月平均は当局試算。

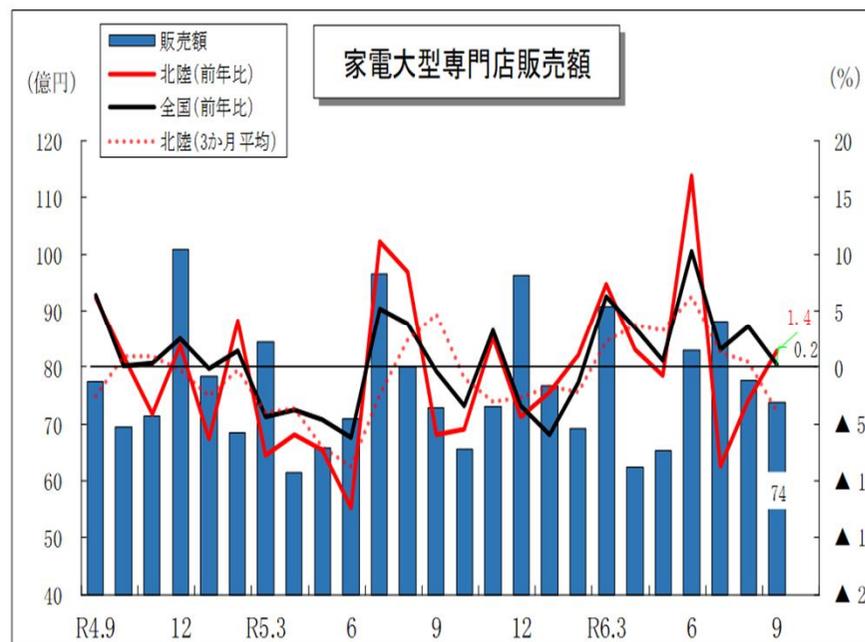
(資料)経済産業省、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 被災家屋の復旧のための工具・金物が売れており、今後も震災関連需要が続くと見込まれる。
- 奥能登豪雨被害により、自宅や避難所で使用する寝具一式の購入がみられている。
- 足下では、ようやく気温が下がり冬物用品や灯油が動き始めている。

④家電大型専門店販売は、給湯器や洗濯機に動きがみられることから、持ち直しの動きがみられる。

※前回10月判断を据置き(令和6年6月以降、6か月連続の据置き)



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料)経済産業省、北陸財務局

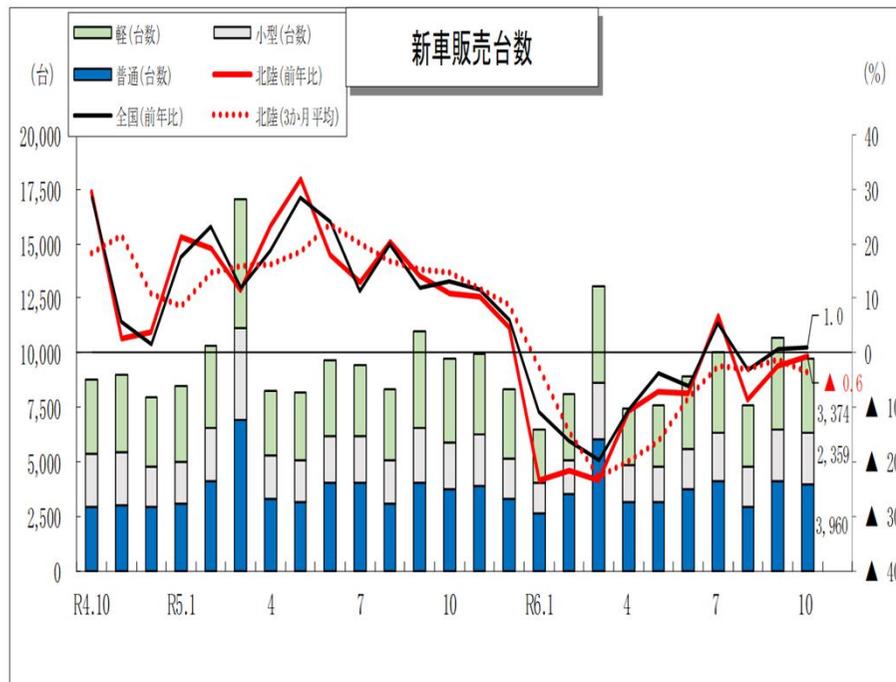
(主なヒアリング結果)

- 国の補助金効果もあり、引き続き給湯器が好調に動いた。
- モデルチェンジに伴う値下げにより、旧型のエアコンや洗濯機が良く売れた。

(3) 新車販売

10月の新車販売台数は、前年を下回っているものの、緩やかに持ち直しつつある。

※前回10月判断を据置き(令和6年9月以降、3か月連続の据置き)



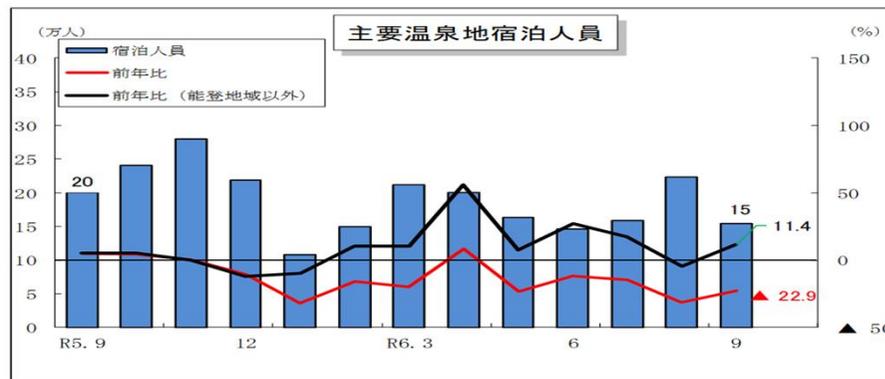
(資料) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、北陸財務局

(主なヒアリング結果)

- 出荷停止となっていた人気車種の出荷・生産が再開されており、引き続き受注の増加に期待している。
- 軽乗用車は、新型車の発売やモデルチェンジがなく、動きが鈍い。

(4) 観光・旅行関連

①**主要温泉地の宿泊客数(9月)**は、前年を下回っている。なお、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸の効果もあって、前年を上回っている。



(注) R6.1以降の和倉温泉・輪島温泉は未集計。

(資料) 北陸観光協会

(主なヒアリング結果)

- 団体客に動きがみられたほか、3連休が2週続いたこともあり、客数・売上ともに増加した。(福井: 温泉地)
- 足下では、北陸新幹線敦賀延伸や北陸デスティネーションキャンペーン(北陸DC)の効果などにより、好調に推移している。(加賀: 温泉地)

②**主要観光地の入込客数(10月)**は、前年を下回っている。

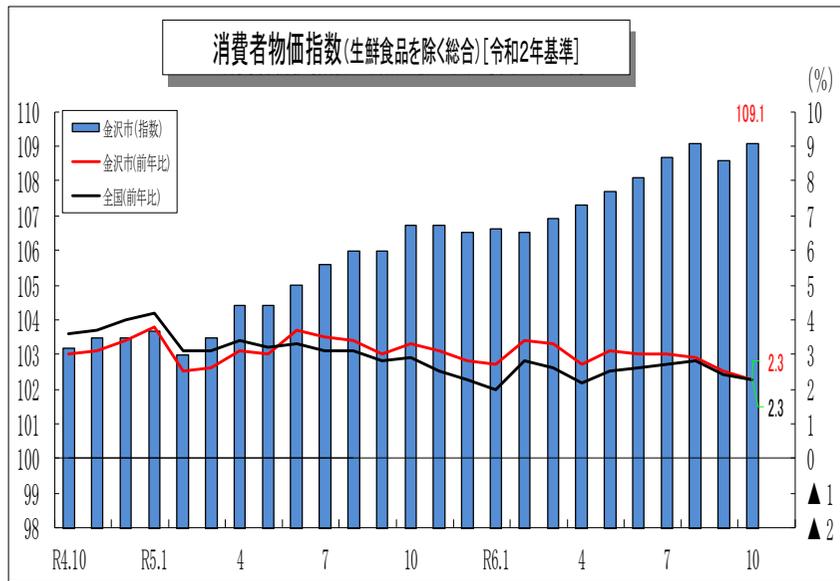
なお、能登地域以外では、北陸新幹線の敦賀延伸の効果もあって、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 北陸新幹線敦賀延伸以降、特に関東方面の客数が増えており、好調に推移している。また、北陸DCの効果もあって、コロナ禍以降低調だった団体客が徐々に増加している。(福井: 観光地)
- 豪雨により一時客足が遠のいたが、足下では団体客の立ち寄りもみられるなど、少しずつ戻ってきていると感じる。(能登: 観光地)

(消費者物価)

10月の消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)は、前年を上回っている。

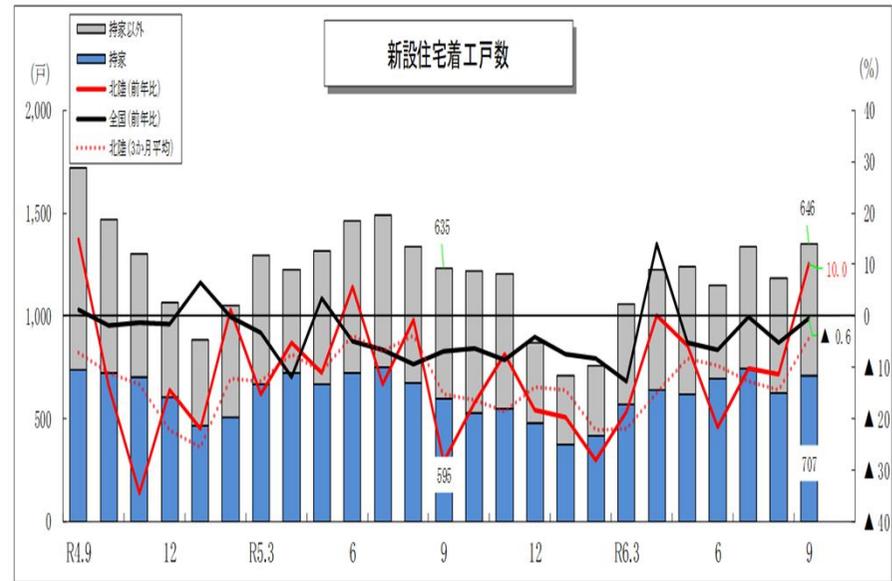


(資料)総務省

2. 住宅建設 … 下げ止まりつつある

9月の新設住宅着工戸数などを踏まえると、下げ止まりつつある。

※前回10月判断を上方修正(令和3年10月以来、37か月ぶりの上方修正)



(注)3か月平均は当局試算。

(資料)国土交通省、北陸財務局

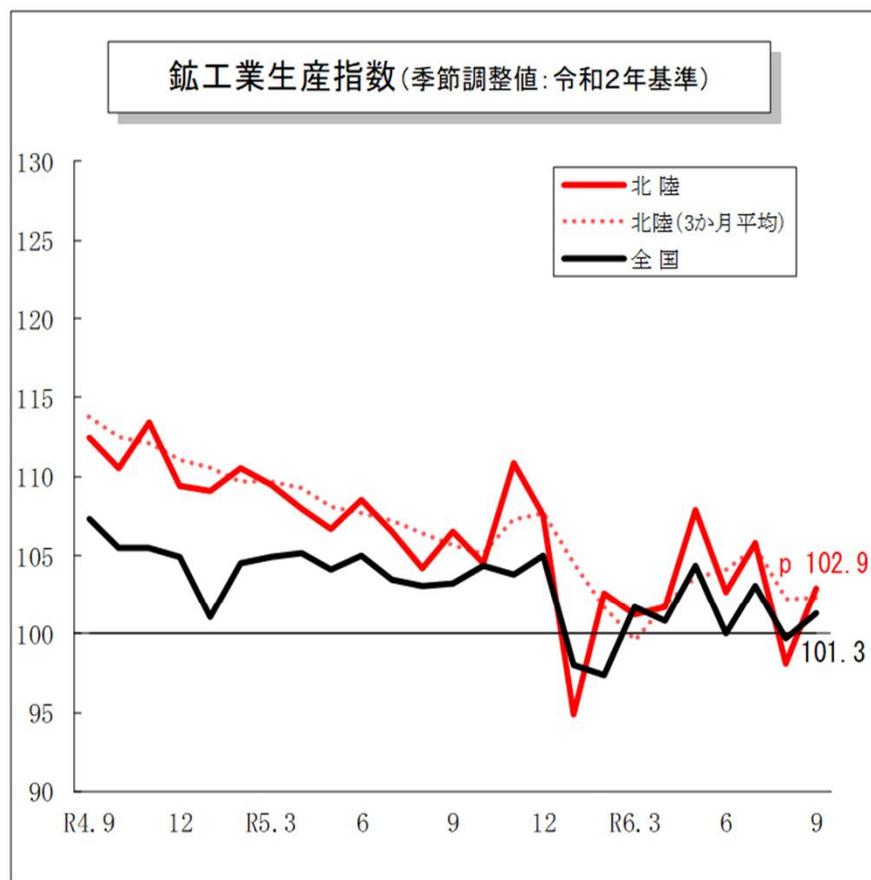
(主なヒアリング結果)

- >被災住宅の建替え・リフォーム需要により契約件数が増加している。
- >遠方で営業エリア外の能登方面の顧客が増えた。今後も震災からの復旧・復興需要が続くだろう。

3. 生産 … 持ち直しつつある

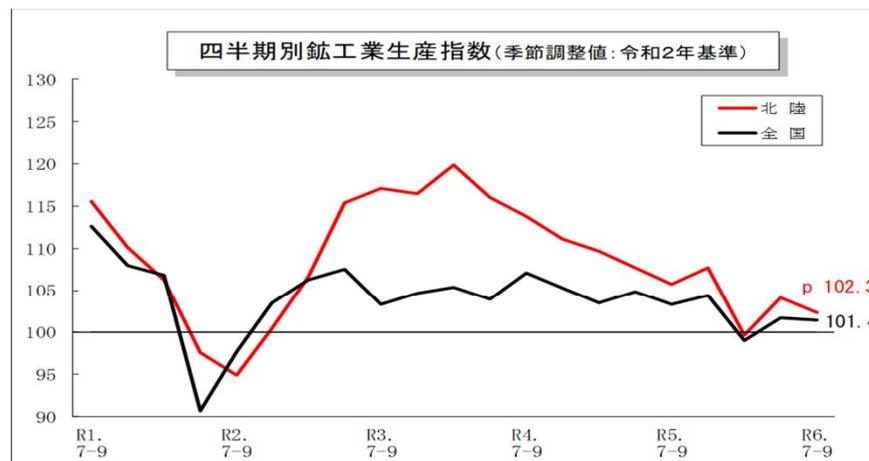
※ 前回10月判断を据置き(令和6年8月以降、4か月連続の据置き)

電子部品・デバイスや金属製品が下げ止まっているほか、化学が緩やかに回復していることなどから、全体では持ち直しつつある。



(注) 3か月平均は当局試算。

(資料) 経済産業省、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局



業種	判断	前回との比較
化学	緩やかに回復している	➡
電子部品・デバイス	下げ止まっている	➡
生産用機械	弱含んでいる	➡
金属製品	下げ止まっている	➡
繊維	緩やかに持ち直しつつある	➡

業種別にみると、

(1) 化学は、大宗を占める医薬品で、緩やかに回復している。

※前回10月判断を据置き

(主なヒアリング結果)

- 9月は定期点検のため工場を停止したが、10月以降の生産は計画通り推移している。
- 地震の影響で停止していた製造ラインが本格稼働し、足下の生産額は伸びている。
- 後発医薬品の使用促進策もあって需給がひっ迫しており、生産ラインの増設を行う計画。

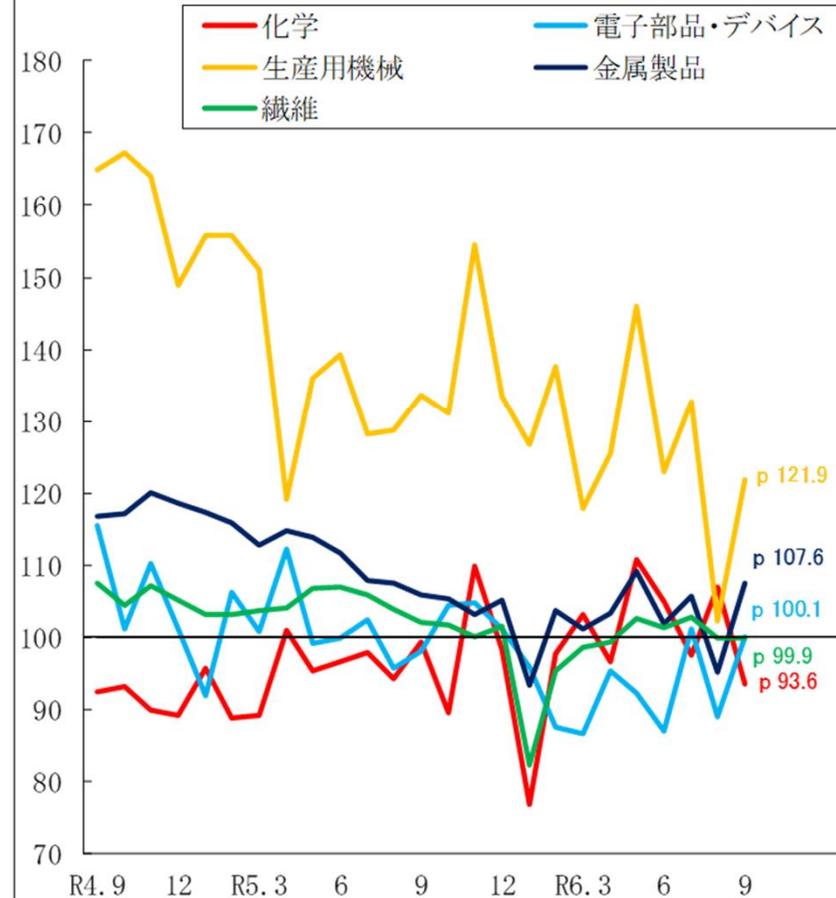
(2) 電子部品・デバイスは、家電向けが弱まっているものの、スマートフォン向けが持ち直しつつあるほか、自動車向けが緩やかに持ち直しつつあることなどから、全体では下げ止まっている。

※前回10月判断を据置き(令和6年7月以降、5か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- スマホ向けは、北米メーカー向けで例年同様に量産期を迎え、堅調に推移した。中華圏メーカー向けは引き続き弱い動き。
- 自動車向けは、EV車向けの需要が鈍化しているものの、受注残が一定程度積み上がっており、生産が大きく落ち込むことはない。
- 家電向けは、中国からの受注低迷が続いており、先行きも明るくない。

主要業種の単月生産指数(季節調整値:令和2年基準)



(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

(3) **生産用機械**は、半導体製造装置が持ち直しているものの、繊維機械や金属加工機械が弱含んでいることなどから、全体では弱含んでいる。

※前回10月判断を据置き

(主なヒアリング結果)

- 繊維機械は、価格競争の激化や中国経済の不振等により、受注の低迷が続いている。
- 金属加工機械は、ドイツを中心に自動車関連で不調が続いている。

(4) **金属製品**は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用が弱まっているものの、ビル用に持ち直しの動きがみられることから、全体では下げ止まっている。

※前回10月判断を据置き(令和6年8月以降、4か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

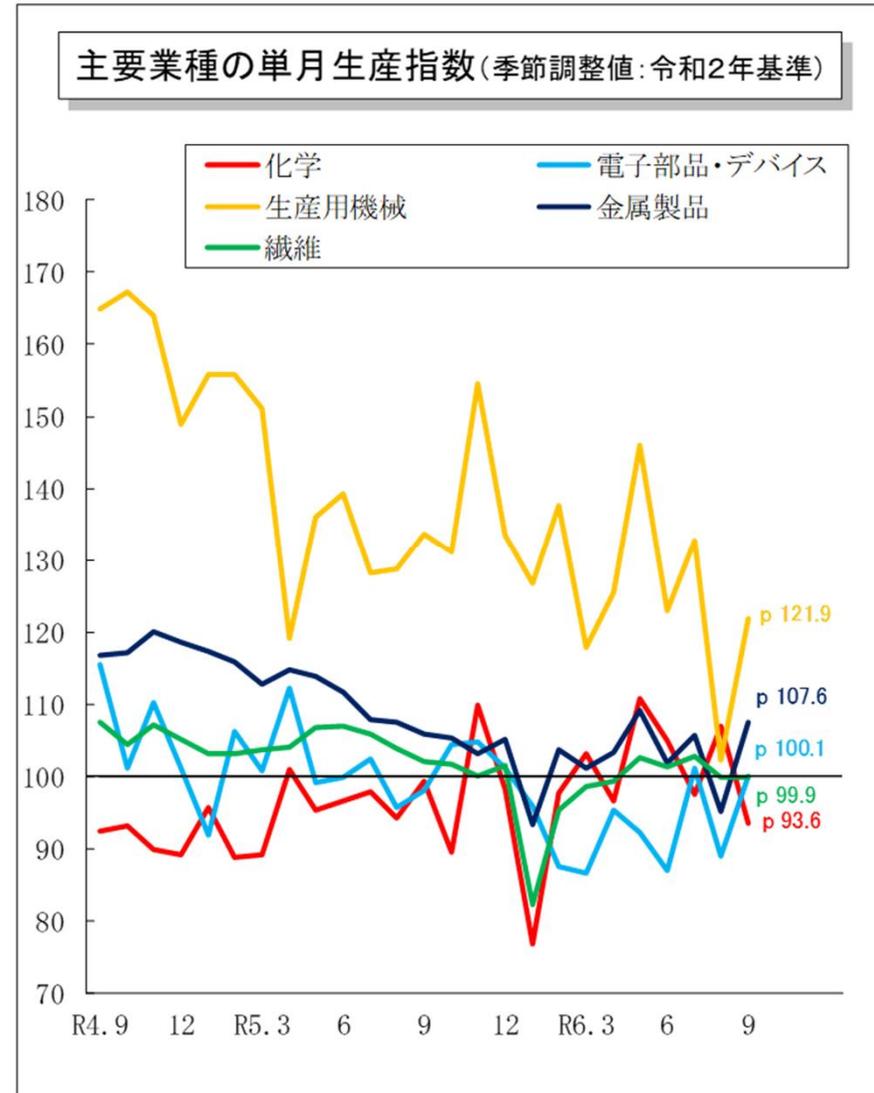
- 住宅市場が振るわず、引き続き住宅用建材の動きは鈍い。
- ビル用は前年を上回って推移しており、年内は続く見込み。

(5) **繊維**は、衣料向けが弱含んでいるものの、非衣料向けが持ち直しつつあることから、全体では緩やかに持ち直しつつある。

※前回10月判断を据置き(令和6年6月以降、6か月連続の据置き)

(主なヒアリング結果)

- 婦人向けで在庫調整が続いており、生産水準を抑えている。
- カーシート向けは、引き続き堅調に推移している。

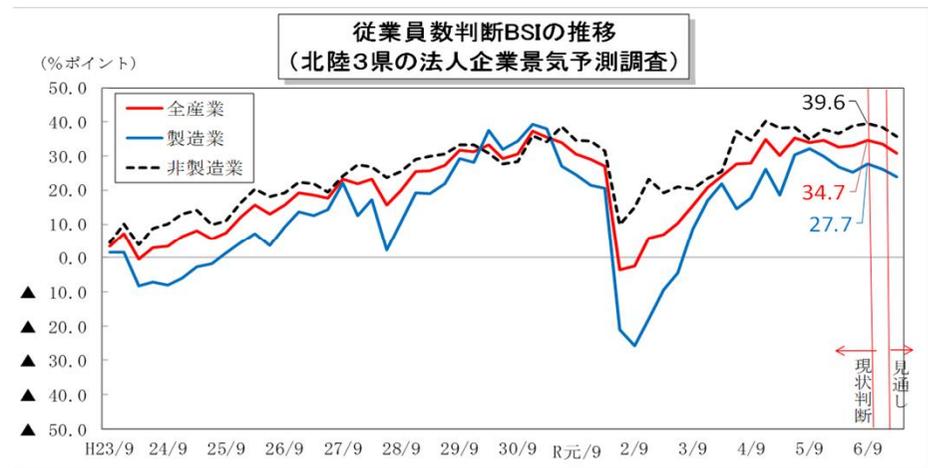
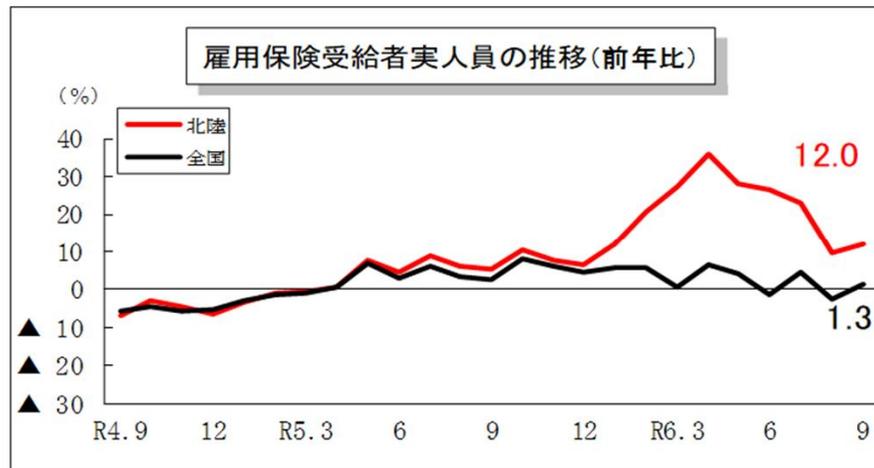
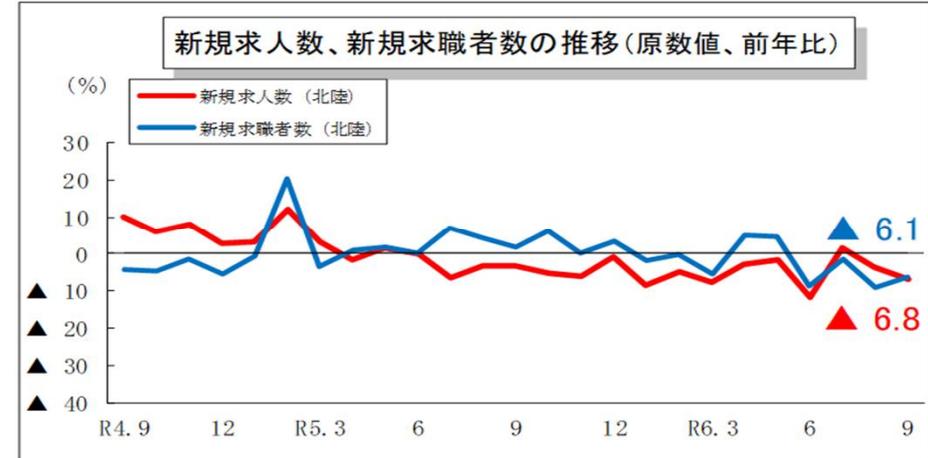
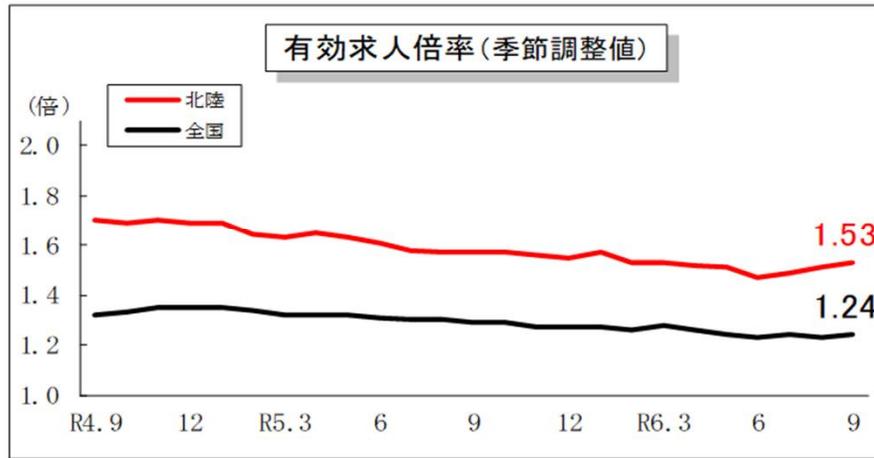


(資料) 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

4. 雇用情勢 … 地震の影響により一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

9月の有効求人倍率は、上昇している。
 新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。
 雇用保険受給者実人員は、前年を上回っている。

※前回10月判断を据置き(令和4年7月以降、29か月連続の据置き)



(注1) 従業員数判断BSI = 「不足気味」回答社数構成比 - 「過剰気味」回答社数構成比。

(注2) 最新の現状判断は、令和6年9月末時点。

(資料) 厚生労働省、各県労働局、北陸財務局 10

■主要経済指標 (1)【次ページに注記等あり】

項目			R6年7月	R6年8月	R6年9月	R6年10月	資料出所	備考	
個人消費	百貨店・スーパー販売額	全国	億円 18,990 前年比 1.3	18,664 4.5	17,394 1.8	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 32,744 前年比 ▲0.0	34,966 3.4	p 30,813 p 1.0	...	中部経済産業局		
	コンビニエンスストア販売額	全国	億円 11,482 前年比 0.7	11,466 0.7	10,682 0.6	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 22,595 前年比 0.4	23,340 0.2	21,385 0.7	...	(北陸財務局)		
	ドラッグストア販売額	全国	億円 7,793 前年比 4.5	7,833 7.4	7,285 3.8	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 31,021 前年比 4.8	31,742 5.5	30,292 4.7	...	(北陸財務局)		
	ホームセンター販売額	全国	億円 2,977 前年比 ▲1.5	2,984 7.9	2,605 2.2	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 5,268 前年比 ▲1.0	5,388 10.1	4,691 4.7	...	(北陸財務局)		
	家電大型専門店販売額	全国	億円 4,540 前年比 1.6	3,891 3.6	3,771 0.2	...	経済産業省	-	
		北陸	百万円 8,807 前年比 ▲8.8	7,775 ▲2.9	7,377 1.4	...	(北陸財務局)		
	乗用車新車登録・届出台数	全国	台 338,458 前年比 5.5	271,247 ▲3.2	366,031 0.8	337,376 1.0	(北陸財務局)	・乗用車新車登録・届出台数は、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会調べ。	
		北陸	台 10,037 前年比 6.8	7,612 ▲8.6	10,695 ▲2.5	9,693 ▲0.6			
物価	消費者物価指数 (生鮮食品を除く総合)	全国 (R2=100)	指数 108.3 前年比 2.7	108.7 2.8	108.2 2.4	108.8 2.3	総務省	-	
		金沢市 (R2=100)	指数 108.7 前年比 3.0	109.1 2.9	108.6 2.5	109.1 2.3			
住宅着工	新設住宅着工戸数	全国	戸 68,014 前年比 ▲0.2	66,819 ▲5.1	68,548 ▲0.6	...	国土交通省	-	
		北陸	戸 1,338 前年比 ▲10.1	1,186 ▲11.4	1,353 10.0	...	(北陸財務局)		
生産	鉱工業生産指数 (季節調整値)	全国 (R2=100)	(10,000) 103.1 前月比 3.1	99.7 ▲3.3	101.3 1.6	...	経済産業省	-	
		北陸 (R2=100)	(10,000) 105.8 前月比 3.0	98.1 ▲7.3	p 102.9 p 4.9	...	中部経済産業局		
		化学	(1,540.5) 97.6 前月比 ▲7.0	106.9 9.5	p 93.6 p ▲12.4	...			
		電子部品・デバイス	(1,401.6) 101.2 前月比 16.3	89.0 ▲12.1	p 100.1 p 12.5	...			
		生産用機械	(1,233.3) 132.8 前月比 8.0	102.3 ▲23.0	p 121.9 p 19.2	...			
		金属製品	(905.8) 105.7 前月比 3.8	95.1 ▲10.0	p 107.6 p 13.1	...			
		繊維	(579.9) 102.8 前月比 1.4	99.8 ▲2.9	p 99.9 p 0.1	...			

■主要経済指標(2)

	項目			R6年7月	R6年8月	R6年9月	R6年10月	資料出所	備考
雇用	有効求人倍率 (季節調整値)	全国	倍	1.24	1.23	1.24	…	厚生労働省	・有効求人倍率の北陸は、当局において各県の有効求人数、有効求職者数を合算して試算している。
		北陸	倍	1.49	1.51	1.53	…	(北陸財務局)	
	新規求人数(原数値)	北陸	前年比	1.8	▲3.5	▲6.8	…	(北陸財務局)	-
	新規求職者数(原数値)	北陸	前年比	▲1.6	▲9.2	▲6.1	…	(北陸財務局)	
	雇用保険受給者実人員	全国	前年比	4.6	▲2.7	1.3	…	厚生労働省	
北陸		前年比	23.2	9.5	12.0	…	(北陸財務局)		
公共事業	公共工事請負金額	全国	億円	15,307	10,706	12,752	11,288	東日本建設業保証ほか	・公共工事請負金額は、東日本建設業保証、西日本建設業保証、北海道建設業信用保証の3社による公共工事前払金保証実績に基づくものである。
			前年比	10.9	▲3.9	▲1.9	3.2		
		北陸	億円	655	483	594	436	(北陸財務局)	
			前年比	52.9	33.5	76.0	49.1		
金融	預 (末残金)	全国	億円	11,503,995	11,489,398	11,437,705	…	日本銀行 信金中央金庫	・預金の金額は表面預金。 ・単位未満は、金額については切捨てで表示している。 ・国内銀行及び信用金庫の合計で、整理回収機構、ゆうちょ銀行を含まない。 ・北陸は、北陸3県内に店舗を置く国内銀行の合計(3県内店舗分)及び北陸3県内に本店を置く信用金庫の合計。 ・国内銀行は、銀行勘定を集計したもの。ただし、オフショア勘定を含まない。また、中央政府向け貸出を除く。
			前年比	2.0	1.8	1.9	…		
		北陸	億円	216,636	218,099	215,631	…	(北陸財務局)	
			前年比	2.9	3.6	2.1	…		
	貸 (末残金)	全国	億円	6,810,943	6,799,347	6,804,744	…	日本銀行 信金中央金庫	
			前年比	4.1	3.7	3.1	…		
北陸		億円	106,347	107,004	106,738	…	(北陸財務局)		
		前年比	▲0.0	0.6	0.1	…			
企業倒産	企業倒産件数	北陸	件	17	11	12	20	㈱東京商工リサーチ	・前年比については切捨てで表示している。
		前年比	30.7	▲38.8	▲7.6	150.0			
	負債総額	北陸	百万円	1,547	764	1,464	812		
			前年比	▲14.1	▲67.3	14.0	▲91.6		

【注記】

- pは速報値である。季節調整等により、数値が改定される場合があるので、利用にあたっては可能な限り最新号によって下さい。
また、資料出所先において、最新の指標や改定値等の公表が行われている場合があるので、利用にあたってはご留意下さい。
- 「北陸」は、断りが無い限り、石川、富山、福井の3県である。
- 各県分の資料のみ発表されているものを北陸3県分として集計等している場合は、資料出所欄に「(北陸財務局)」として表示している。
- 金額等の計数及び前年比は、断りが無い限り、四捨五入で表示している。